

令和6年度 第1回 燕市行政改革推進委員会

【日 時】令和6年7月12日（金）午後3時15分～4時50分

【場 所】燕市役所3階 301会議室

【出席者】委 員 会長 田村 秀、伊皆 桂子、仲村 厚子、樋口 太彌人、
細野 美恵子、山村 則子（敬称略）

事務局 企画財政部部長 杉本 俊哉

企画財政課課長 小杉 茂樹

同副主幹 大塚 小由紀、同政策専門員 相馬 建、

同主任 村上 峻、同主任 熊谷 圭祐

総務課課長補佐 高宮 潤、同係長 松井 寿子、

同情報統計室副主幹 平澤 大輔、同情報企画専門員 周佐 宣子

広報秘書課長 山崎 聡子

【欠席者】委 員 飯塚 文雄、池田 弘、笠輪 信彦、清水 麻子（敬称略）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）令和6年度のスケジュール について（資料1）

会長：それでは、事務局から提出された議題について、資料に基づき審議いたします。まず、「議題番号1、令和6年度のスケジュールについて」、事務局から説明をお願いいたします。

（事務局から説明）

会長：ただいまの説明につきまして、質問などございましたら、挙手をしてご発言をお願いいたします。

（発言なし）

（2）第3次燕市行政改革推進プラン実施計画 進行管理表（令和5年度実績・令和6年度計画） について（資料2）

会長：実施計画の取組状況について、事務局から説明をお願いします。数が多いということで、3つの基本方針ごとに、それぞれ説明、質疑応答を行いたいと思います。最初に、「令和5年度実施計画の実績」の説明と「財政力の向上」からお願いいたします。

(事務局から「令和5年度実施計画の実績」と「財政力の向上」に係る項目の説明)

会長：ただいまの説明につきまして、質問などございましたら、挙手をしてから発言をお願いいたします。

会長：実施項目8の電子契約の導入・運用で、請負事業者の中で電子契約について不安があったり、理解が進んでいなかったりということですが、もう少し具体的にどういう理由で躊躇されているのか、把握されていますか。

事務局：令和5年度においては、工事請負費の契約を電子契約の対象として取り組んできました。各々の事業所規模やデジタル化の進展状況により、事業所内の職員対応が難しい現状があるという話は聞いております。

委員：実施項目1の公共建築物の適正配置のところで、以前「たのうら燕」という施設があったと思うが、現状はどのようになっていますか。

事務局：以前は、なかなか買い手が見つからない状況がありましたが、何年か前に買い手が見つかりまして、既に売却している状況です。

委員：実施項目4の小中学校のプール解体ですが、当面解体せず、存続としている4施設について将来的には解体していく計画はありますか。

事務局：存続となっている4施設については、平成20年や平成23年に改修しているプールや、学校建設とともに近年整備をしたプールであり、いずれも比較的新しいプールであることから、当面の間はプールを存続させていきたいと思っています。その後、この4施設についても改修時期のタイミングで、プールを存続するかどうか検討するという事になるかと思えます。

委員：実施項目1の公共建築物の適正配置のところで、ビジターサービスセンターは、昨年度末の時点で廃止の方向で検討とされていましたが、現状の計画においては道の駅国上エリア全体を踏まえて廃止ではなく調整していくと記載されています。現在、どのような目的で、このビジターサービスセンターを考えているのか教えていただけませんか。

事務局：ビジターサービスセンターにつきましては、単独で見れば老朽化しており、縮小・廃止の方向としていましたが、道の駅国上のリニューアルを契機に、道の駅を中心に地域が活性化している状況があることに加え、現在、長善館史料館と分水良寛史料館の在り方についても検討していることから、道の駅国上エリア全体としてより活性化する方策について検討しているところであり、その議論の中

において、ビジターサービスセンターについても方向性を検討したいと思っております。

委員：現在はスマートフォンで自ら検索することができるため、「ビジター」の考え方も変わってくると思いますし、ビジターサービスセンターの近くには、道の駅や信濃川大河津資料館、人工河川の大河津分水路、良寛など、総合的に学習できる施設がそろっています。ぜひ、まちづくりを進めるにあたって大切な視点にしてほしいと思います。その中において、ビジターサービスセンターで何をするのか考えていただければと思っています。

会長：他になければ、続いて「行政力の向上」の説明をお願いします。

(事務局から「行政力の向上」に係る項目の説明)

会長：ただいまの説明につきまして、質問などございましたら、お願いいたします。

委員：実施項目 15 のRPAやAIなどの新技術の導入のところで、AIでは議事録作成が順調に進んでいることは分かりましたが、RPAのほうは具体的にはどんな業務に利用できると考えていますか。

事務局：RPAについて、現在大きく進んでいるところは少ないですが、例えば、会計課では収入の自動入力とか、保育園の給食だよりを作る際に、献立を作ったら、自動的に入力できるようにするなど活用しております。今後、活用場面をもう少し増やしていこうと模索していますが、RPAを扱うにはある程度のスキルも必要であることから、職員のスキルアップを図るような活動をしていこうと考えております。

会長：ちなみにこの議事録はどうでしょうか。

事務局：今、録音機が自動的にまとめてくれるような形になっております。

会長：ありがたい時代がきましたね。非常に良いことだと思います。私から一つ質問で、市ではデジタル化に関するさまざまな取組を進められており、全国各地においても自治体業務のデジタル化が進められています。燕市の立ち位置はどれくらいでしょうか。

事務局：市では12月稼働を目途に、「書かない窓口」に取り組んでいるところですが、これについては既に阿賀野市などで取り組んでいます。他市に遅れを取らないように、市でもデジタル化を進めているところです。

委員：実施項目 18 の指定管理者制度で、屋内こども遊戯施設の選考と手続きについて教えてください。

事務局：今、施設については建設中ですが、今年度に入ってから指定管理者の公募を行いました。そして、7月5日に選定委員会を開き、指定管理者の候補者が決まったところであり、今後、議会へ議案を上程し、議決を頂いたのち、正式に指定管理者として決定する流れとなります。

委員：例えば、文化会館ですが、トイレが地下にあるなど使い勝手があまり良くない設計と感じています。新しい施設を作る際に、指定管理者が設計段階から関わっていくようなやり方はあるのでしょうか。

事務局：燕・弥彦総合事務組合の事例となりますが、現在、分水地区で新しい浄水場を建設しているところであり、DBO方式（Design Build Operate）という民間事業者が施設の設計・建設・運営を一体的に委託して実施する方式を取り入れております。一体的に実施する方式、別々に実施する方式、それぞれにメリット・デメリットがありますので、個々の施設について検討した上で、適したやり方を選択するというのが今の考え方となっております。

委員：実施項目 22 の公式SNS等による情報発信で、LINEのごみ収集アラートの内容について教えてください。

事務局：LINEの機能にある「ごみ収集のアラートを通知します」に、ご自身でチェックを入れていただきますと、「今日は燃えるごみの日です」や、「燃えないごみの日です」など、ごみ収集の前日にLINEにお知らせの通知が届くという仕組みになっています。

委員：そのような仕組みは、市民の声を受けて始めることになったのでしょうか。それとも行政の判断で決められたのでしょうか。

事務局：このLINEの機能については、どんな機能が良いか市民に意見を伺うような機会は、特設設けてはおりませんでした。基本的には、行政のほうで検討したものにはなりますが、さまざまな声を聞きながら、また、我々も一市民として生活している中で、「こんな情報があったらいいな」とか、そのような声も含めて参考にさせていただき、さまざまな機能を検討しているところです。

委員：ごみ収集の時間を地域によってずらすことはできないのでしょうか。

事務局：同様の要望は時折市に寄せられています。確かに実際に収集に回る際は、地域によってタイムラグが生じていますが、ごみ収集業者の方には、朝8時から

ごみ収集を開始してほしいとお願いしてあります。この地域は何時、この地域は何時という対応は難しいことから、皆さん一律に公平に朝8時までに出していただきとお願いしているところです。

会長：他になければ、続いて「職員力の向上」の説明をお願いします。

(事務局から「職員力の向上」に係る項目の説明)

会長：ただいまの説明につきまして、質問などございましたら、お願いいたします。
私から一つ。実施項目26の人材の確保・定着の推進で、新規採用が78人、そのうち在職者数が72人と6人退職されたわけですが、何か分野の偏りとかなかったでしょうか。

事務局：特に分野の偏りはありませんでした。

会長：どこの自治体でも言えるのですが、土木技術系や保健師、看護など専門職を確保するために非常に必死になっているところであり、試験の時期や回数などを見直すことによって改善に努めていると思いますが、それ以外に何か工夫されていることはありますか。

事務局：内定者には内定の連絡を電話で行っておりますが、「迷っている」という方がそれなりにいらっしゃいます。そのような際に、「もしよければ実際の職場を見に来ませんか。それを見てから決めて構いませんよ」とご案内しています。実際に、土木職の方で先輩職員の話聞いたうえで雰囲気良さそうということで燕市に決められた方もいらっしゃったと聞いています。

委員：実施項目26で、内定辞退を防ぐために、応募前の懇談会のようなことは開催しているのでしょうか。

事務局：今のところ応募前の懇談会は開催しておりません。最終試験まで残っている受験者の多くは、併願先を持っているのが実態です。そこで、内定応募の可能性を高めるため、最終試験の受験者に対し、「燕市に来てほしい」という採用側の思いを伝えるようにしています。

委員：企業によっては内定者を集めて、先輩社員から魅力や仕事内容など話す機会を設けているところもある。燕市においても、先輩職員から燕市の魅力や仕事内容について話す機会を設けるなど、何か工夫されたほうが良いかと思います。

会長：いろいろ検討してみてください。

委員：実施項目 28 の女性職員の活躍促進ですが、防災課と選挙管理委員会の女性割合が0の一方、市民課8割になっているということでしたが、防災と選挙管理委員会の部署は、男性じゃないと駄目なのでしょうか。

事務局：男性でなければ駄目ということはありません。ただ、防災課と選挙管理委員会は職員数が少ないので、今年度は女性職員を配置できていません。

委員：確か、以前は防災課に女性もいらっしやいましたよね。

事務局：はい。過去には女性職員を配置できた年度もあります。

会長：防災部局に女性がいないのはまずいのではないですか。以前は女性が配置されていたときもありますし、特別、男性でなければ駄目というところでもない。ただ、事情はよく分かりました。

委員：防災分野では、女性の防災リーダーを求めている傾向であり、女性の目線ではかできないこともあります。やはり1人でも配置する工夫をされたほうが良いかと思います。

会長：私も同感ですが、いかがでしょうか。

事務局：年齢構成やタイミングなど、いろいろな要素がありますが、今後の異動の中で配置できるか検討させていただきます。

会長：ただちには難しいですが、前向きに取り組んでもらえればと思います。

委員：人材確保が難しいのは市役所だけでなく民間企業も同じ状況です。大卒や高卒でそれぞれ定員があると思いますが、少しハードルを下げて、まずは人材を確保して、そこから育てていくような考えはあるのでしょうか。

事務局：採用状況を見ると確かに大卒が多い状況ですが、職員採用においては、高卒を採用して育成していくという視点も当然ありますので、社会情勢等を見定めながらバランス等考えていきたいと思っています。

会長：最近の傾向として、スライドを作成するのは上手なのですが、文章が書けない人が増えています。実施項目 23 の政策形成能力の向上のところの、伝わる文章研修とはどのように実施しているのでしょうか。

事務局：総務課で例題を何問か用意し、各課単位で研修をしてもらうような流れをとりました。例えば、主語と述語がねじれていたり、離れていたりするような場

合、どう変えると読みやすくなるかなどの例題を用いて各課の職場研修担当者から研修を実施してもらいました。

会長：ということは、委託とかではなく自前でやっているわけですね。

事務局：はい。

会長：文章力の向上は、職員のさまざまなコミュニケーション能力の向上や接遇力の向上にもつながると思いますし、そのようなことが市民の納得感や満足感の向上にもつながってくると思いますので、採用試験などで一定のスクリーニングがかかっているとは思いますが、そこを誤ると市民の方に非常に迷惑が掛かってきますので、工夫しながらぜひ引き続き力を入れていってほしいと思います。

委員：合併当時、人口の割合に対して職員は多かったような記憶があるが、今の燕市の人口に対し、現在の職員規模は適正なのでしょうか。

事務局：職員の総数については、計画的に採用しているところです。事務的な仕事をしている職員は400人程度で、保育士などを含めると640人ぐらいになります。計画上の数値と大きく乖離していませんので適正な人数といえます。

会長：補足ですが、他市と比較しても燕市は比較的にスリムにやっているといます。比較的にコンパクトな街ですし、山間部がたくさんあるわけでもなく、そのような条件もあるかと思いますが、一般的な人口規模5万から10万人の中では、燕市はコンパクトにやられている印象です。

4. その他

会長：その他ということで、事務局の方から説明していただけますか。

(次回委員会の日程等について事務局から説明)

会長：それでは以上をもちまして、第1回委員会を閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。